

薬物についての相談窓口

北海道厚生局麻薬取締部	☎ 011-726-1000
東北厚生局麻薬取締部	☎ 022-227-5700
関東信越厚生局麻薬取締部	☎ 03-3512-8690
関東信越厚生局麻薬取締部横浜分室	☎ 045-201-0770
東海北陸厚生局麻薬取締部	☎ 052-961-7000
近畿厚生局麻薬取締部	☎ 06-6949-3779
近畿厚生局麻薬取締部神戸分室	☎ 078-391-0487
中国四国厚生局麻薬取締部	☎ 082-228-8974
四国厚生支局麻薬取締部	☎ 087-823-8800
九州厚生局麻薬取締部	☎ 092-431-0999
九州厚生局麻薬取締部小倉分室	☎ 093-591-3561
九州厚生局沖縄麻薬取締部	☎ 098-854-0999

他にも、全国各精神保健福祉センター、各保健所、警察署などでも相談を受け付けています。

本運動を実施している機関

厚生労働省、都道府県、麻薬・覚せい剤乱用防止センター、国際連合(国連薬物犯罪事務所)、内閣府、警察庁、総務省、法務省、最高検察庁、外務省、財務省税関、文部科学省、経済産業省、国土交通省、海上保安庁

海上保安協会、ガールスカウト日本連盟、国際ロータリー第1～第3ゾーン(日本)ロータリークラブ、国際フレイトフォワードーズ協会、日工組社会安全研究財団、全国高等学校PTA連合会、全国子ども会連合会、全国社会福祉協議会、全国人権擁護委員連合会、全国少年警察ボランティア協会、全国生活衛生同業組合中央会、全国配置薬協会、全国防犯協会連合会、全国保護司連盟、全日本医薬品登録販売者協会、日本医師会、日本一般用医薬品連合会、日本医薬品卸売業連合会、日本医療機器産業連合会、日本学校歯科医会、日本学校保健会、日本カラオケボックス協会連合会、日本勤労青少年団体協議会、日本化粧品工業連合会、日本更生保護女性連盟、日本歯科医師会、日本自動車整備振興会連合会、日本新聞協会、日本相撲協会、日本青年会議所、日本製薬団体連合会、日本塗料商業組合、日本PTA全国協議会、日本BBS連盟、日本プロサッカーリーグ、NHK、日本民営鉄道協会、日本民間放送連盟、日本野球機構、日本薬剤師会、日本YMCA同盟、ボーイスカウト日本連盟、ライオンズクラブ国際協会330～337複合地区ガバナー協議会

募金運動にご協賛いただける団体等がございましたら、ご連絡下さい。
(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター ☎ 03-3581-7436 まで

本冊子は、グリーン購入法の基準を満たす紙を使用しています。リサイクル適性の表示：紙へのリサイクル可

国連支援募金のご紹介

国連支援募金とは

本募金運動は、国際連合の「新薬物乱用根絶宣言(2009年～2019年)」を支援し、国内外における薬物乱用防止活動の促進を図るため、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の実施期間を重点的に実施しています。

本年度においても、後援及び協賛を賜りました関係団体、街頭等で募金を呼びかけて下さった方々の絶大なご尽力により全国より35,102,875円の募金が寄せられました。皆さまから寄せられた募金は、今までに約6億8千5百万円が国際連合薬物犯罪事務所(UNODC)へ寄付されており、延べ621ヶ国において、薬物乱用防止教育、NGO組織の設立、指導者の養成などに活用されています。2017年度においても、1,800万円が国連へ寄付されました。

支援プロジェクトの例(2016)

①ブルンジ(東アフリカ)

薬物乱用防止と子供の健全な成長を図るため、学校に通っていない子供を持つ親を訓練し、子供を学校に通わせるよう支援するプロジェクト。訓練プログラムを開発し、100人の親の訓練をおこなう他、教会などの集会以地域の認識を高める。



②コロンビア

1000人の生徒を対象に、薬物乱用防止の意識を植え付けることを目的に、学校のカウンセラーが、地域の状況に即して改良された方式で生徒との対話をおこなう。併せて、生徒自身に啓発と防止のための活動を行わせる。



2017年 国連寄付金の活用状況



地域	国名	プロジェクト数	助成金額
アフリカ及び中近東諸国	南アフリカ	2	380万円
東ヨーロッパ、中央アジア	セルビア、ボスニア・ヘルツェゴビナ	2	385万円
ラテンアメリカ・カリブ諸国	コロンビア、ニカラグア	2	380万円
東南アジア、太平洋諸国	インドネシア、フィリピン	2	385万円
	オーストリア	2	60万円
事務費(13%)			210万円
合計	8ヶ国	10	1,800万円

街頭キャンペーン



募金活動へのご協力を
お願いいたします。

振込先

郵便局 00140-8-612164

「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金

新国連薬物乱用根絶宣言(2009年～2019年)
UNITED NATIONS NEW DECLARATION ON DRUG DEMAND REDUCTION

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動
あらゆる薬物乱用をなくそう。

ダメ。ゼッタイ。普及運動

国連
支援募金

薬物乱用「3ない宣言」

持たない

やらない

近よらない



(2009年～2019年)
新国連薬物乱用根絶宣言 6・26国際麻薬乱用撲滅デー
United Nations New Declaration on Drug Demand Reduction The International Day Against Drug Abuse and Illicit Trafficking

乱用薬物の種類



覚醒剤



大麻



危険ドラッグ



MDMA(麻薬)



厚生労働省・都道府県
麻薬・覚せい剤乱用防止センター



薬物乱用のない 社会環境づくりを



「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

薬物乱用問題は全世界的な広がりを見せ、人間の生命はもとより、社会や国の安全や安定を脅かすなど、人類が抱える最も深刻な社会問題の一つとなっています。



「ダメ。ゼッタイ。」普及運動は、新国連薬物乱用根絶宣言(2009年~2019年)への支援事業の一環として、国内における薬物乱用防止活動において、官民一体となり、国民一人一人の薬物乱用問題に関する認識を高めるとともに、国連総会決議に基づく「6.26国際麻薬乱用撲滅デー」の周知を図ることにより、内外における薬物乱用防止に資することを目的とするものです。

《主な実施事項》

① 6.26ヤング街頭キャンペーン
薬物乱用防止指導員やボランティア団体等の関係団体、小・中・高校生などが一緒になって、「ダメ。ゼッタイ。」を合言葉に街頭キャンペーンを行います。



② 地域団体キャンペーン
薬局、診療所、教育・スポーツ関係団体、鉄道関係団体等の地域団体のご参加をいただき、募金箱の設置やポスターを掲示していただくほか、子どもたちに薬物乱用の危険性・有害性等について一声かけていただく「一声運動」を行います。



ダメ。ゼッタイ。

薬物乱用とは?

薬物乱用とは、覚醒剤などの違法薬物を使用することをいいます。医療に使われる医薬品を本来の目的から逸脱した目的や方法で使用することも、薬物乱用です。薬物乱用は、社会のルールから外れた目的や方法で使用することをいい、1回使っただけでも乱用です。

乱用される主な違法薬物

覚醒剤、大麻、危険ドラッグ、シンナー、MDMAなど
これらは**隠語**※を使うなどして販売されています。



●覚醒剤

日本で最も検挙者数の多い薬物で、中毒性や依存性が強く、非常に危険。販売者は「元気になる」「やせる」などと言ってすすめてきます。

※「スピード」「エス」「アイス」など

●大麻

近年、検挙者数が増加しており、特に10代~20代の割合が増えています。依存をもたらし、危険性は覚醒剤などの他の薬物と何ら変わりありません。乾燥させたもの、樹脂を固めたもの、液状のものなどがあります。



※「マリファナ」「チョコ」「ハッパ」「グラス」など

●危険ドラッグ

規制が強化され販売ルートも限定的になりましたが、現在もインターネットなどで販売されています。麻薬などに類似した構造をもつ有害で粗悪な物質が使用されており、死に至る場合もあります。

※「ハーブ」「アロマ」「バスソルト」など



〈危険ドラッグの一例〉

薬物乱用を始めると 「依存」が起きてやめられなくなります

乱用される薬物は脳にはたらき、「心」、つまり精神に影響を与える作用を持っています。血圧上昇・心拍増加・不眠症・食欲減退・精神障害等をもたらしたり、逆に呼吸が抑制され、死に至らしめたりすることもあります。また、実際にはないものが見えたり聞こえたりする(幻覚・幻聴)ことがあります。



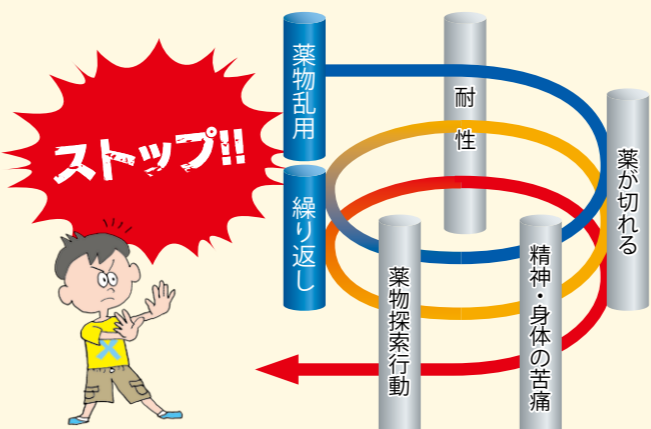
乱用される薬物の共通の特徴は、何度でもくり返して使いたくなる「依存」を引き起こす性質をもっていることです。

いったん依存になってしまうと「快感を得るため」だけでなく、薬が切れた時に感じるイライラや不安、身体的苦痛から逃れるために薬物を使わざるを得なくなります。こうして、薬物なしではいられない「薬物依存」の悪循環にはまってしまうのです。しかも、多くの乱用薬物には、使用を繰り返しているうちに、それまでと同じ量では効かなくなる「耐性」という性質があります。



「1回くらいなら…」という心の隙があなたの将来を台無しにします。

薬物乱用は1回でも「ダメ。ゼッタイ。」。しっかりと断る勇気を!!



薬物乱用は、あなただけでなく、 あなたの家族も、まわりも不幸にします

「自分のお金で薬物を買ひ、自分で使用するのなら、他人に迷惑はかけていない!」薬物乱用は使用する個人の問題だと思いませんか?
家族・友人・大切な人を思い浮かべてみてください。



大間違いです!!

自分の健康の問題

- 身体的障害
- 精神障害
- 性格の変化

家族の問題

- 家族の機能不全
- 家庭内暴力
- 家族の心身の健康
- 家庭崩壊

対人関係の問題

- けんかを起こしやすく、友人知人から離れ、孤立
- 薬物乱用仲間形成

社会的制裁

薬物事犯に対しては、学校では退学など、会社では解雇などの厳しい処分が下されています。

社会生活上的問題

- 職務能力の低下
- 怠業・怠学
- 失業・退学
- 借金

社会全体の問題

- 薬物汚染
- 犯罪・事故の増加
- 治安の悪化

薬物は、暴力団の資金源になるなど、社会の安全を脅かすものです。

ハイリスク・ノーリターン。

それが薬物乱用の実態です

薬物についてのご相談は裏表紙をご覧ください。

